

令和 2 年度事業報告書

学校法人 開 新 学 園

開 新 高 等 学 校

熊本工業専門学校

ながみねこども園

ながみね乳児保育園

事業報告書

1 法人の概要

(1) 設置する学校・学科・定員・現員数

① 開新高等学校

(単位 人)

学 科 名	学 則 定 員				新年度員数(R 3. 5. 1 現在)			
	1 年	2 年	3 年	計	1 年	2 年	3 年	計
土 木 建 築 科	80	80	80	240	71	79	72	222
電 気 情 報 化	80	80	80	240	61	68	60	189
自 動 車 科	80	80	80	240	56	71	70	197
機 械 科	80	80	80	240	41	71	68	180
総 合 学 科	80	80	80	240	77	83	77	237
普 通 科	100	100	100	300	92	91	76	259
計	500	500	500	1500	398	463	423	1284

② 熊本工業専門学校

(単位 人)

学 科 名	学 則 定 員			新年度員数(R 3. 5. 1 現在)		
	1 年	2 年	計	1 年	2 年	計
自動車整備工学科	80	80	160	37	41	78
電気システム科	40	40	80	15	16	31
機械システム科	40	40	80	10	16	26
日 本 語 科	40	40	80	6	12	18
計	200	200	400	68	85	153

③ ながみねこども園

(単位 人)

内 訳	定員	新年度員数 (R 3. 5. 1 現在)		
		1 号	2 号	3 号
0 歳児				1 4
1 歳児				1 9
2 歳児				1 8
3 歳児		5	2 7	
4 歳児		5	2 8	
5 歳児		4	2 9	
計	120	1 4	1 3 5	

④ながみね乳児保育園

(単位 人)

内 訳	定 員	新年度員数 (R 3.5.1 現在)
0 歳児	—	6
1 歳児	—	7
2 歳児	—	6
計	1 9	1 9

2 役員の概要

区 分	内 訳	現員数	備 考
理事・評議員	学識経験者（含理事長）	3	寄付行為6条1項3号 2名 " 6条2項3号 1名
	校 長 ・ 法 人 職 員	1	" 6条1項1号
	法 人 職 員	1	" 6条2項1号
	卒 業 生	2	" 6条2項2号
	育 友 会	1	" 6条2項4号
	元 育 友 会	1	" 6条2項5号
評 議 員	法 人 職 員	4	" 22条1項1号
	卒 業 生	3	" 22条1項2号
	学 識 経 験 者	1	" 22条1項3号
	育 友 会	2	" 22条1項4号
	元 育 友 会	2	" 22条1項5号
監 事		2	" 8条1項

3 教職員の概要（R 3.5. 1）

① 開新高等学校

区 分	職 名	人 員	備 考
教 職	教 諭	6 8	
	養 護 教 諭	1	
	常 勤 講 師	2 5	
	専任実習助手	4	
	実 習 助 手	0	
	カウンセラー	1	
	英語指導助手	0	
	非 常 勤 講 師	6	
事 務 職	専 任 事 務	9	

	常 勤 事 務	5	
そ の 他	嘱 託	0	
	守 衛	1	
	用 務 員	1	
	計	1 2 1	

② 熊本工業専門学校

区 分	職 名	人 員	備 考
教 職	教 官	7	
	教官（常勤講師）	6	
	助 手	3	
	非 常 勤 講 師	1 6	
事 務 職	専 任 事 務	1	
	常 勤 事 務	3	
	計	3 6	

③ながみねこども園

区 分	職 名	人 員	備 考
技 術 職	副 園 長	1	
	専任主任保育教諭	2	
	専 任 保 育 教 諭	1 0	
	常 勤 保 育 教 諭	1 1	
	非常勤保育教諭	7	
	常 勤 准 看 護 師	1	
	専 任 調 理 師	1	
	常 勤 調 理 師	1	
	常 勤 栄 養 教 諭	1	
事 務 職	専 任 事 務	1	
	計	3 6	

④ながみね乳児保育園

区 分	職 名	人 員	備 考
技 術 職	専任主任保育士	1	
	専 任 保 育 士	2	
	常 勤 保 育 士	3	
	非常勤保育士	2	
	非常勤調理師	4	
事 務 職	常勤事務	1	
	計	1 3	

4 令和2年度事業報告（概要）

開新高等学校は、近年入学者数が安定し令和2年度は509名となった。しかし、転退学者については依然多い。学校運営の基盤低下に繋がらないよう注意が必要。

施設は、平成27年12月の新校舎（本館）完成を皮切りに、令和元年12月には災害復旧事業最後の新校舎（実習棟）が完成した。現時点で、校舎耐震化率100%となった。今後は、新校舎を活用したICT環境整備等への取り組みを強化する。

熊本工業専門学校は、学生数の減少が著しく経営基盤が揺らいでいる。理事会の指摘による経営検討会議の「熊工専リニューアル計画」に基づき、令和2年度も、県内高等学校訪問、広報の強化、更には福岡・広島・岡山方面の日本語学校を訪問しPR等を実施したものの、学生数増加には繋がっていない。

ながみね保育園、ながみね乳児保育園に関しては、経営は順調に推移している。又、令和2年度は、コロナ禍における園児の安全性確保に一層の注力を注ぐと共に、保護者との関係を重視した取り組みを行った。なお、園舎の一部増改築工事が完了した。

■ 学園の取り組み

- ・施設整備の充実
新しい機械設備の充実
- ・魅力ある学校経営の推進
新しい教科・備品・設備の充実
- ・信頼と感謝の学校運営
生徒・保護者・教職員との信頼関係
地域貢献の推進

■ 開新高等学校

- ① 魅力ある学校づくり
 - (ア) 施設整備の充実・AI教育の充実強化
 - (イ) 学力の充実 ・進学進路指導の徹底
 - (ウ) 就職指導の徹底・各種免許取得指導
 - (エ) 教職員の研修体制の充実・指導力の向上
- ② 健全な心身の育成
 - (ア) 誠実で勤勉な態度
- ③ 保護者との連携
 - (ア) 生徒指導の連絡・情報の連携
- ④ 地域連携
 - (ア) 学校開放

■ 熊本工業専門学校

① 熊工専リニューアル計画の実施

- (ア) I o t 及びA I 教育の取組
- (イ) E V 化への学内体制（自動車整備工学科と電気システム科の連携）
- (ウ) SNS（Facebook）の活用による学校宣伝
- (エ) EV カーの製作
- (オ) 留学生の日本語能力の向上

② 学生募集の充実

- (ア) 広報活動の推進
- (イ) 学校訪問の充実強化

③ 各学科の特色づくり

- (ア) 企業実習の実施（職員及び学生）
- (イ) 営業の出来る技術者育成

④ 職業教育の質向上（職業実践専門課程の充実）

⑤ 国際交流の推進

- (ア) 日本語科の充実
- (イ) 留学生の確保

■ ながみねこども園

教育・保育方針

- ・興味や探究心を大切にし、集中力や学習力を育てます。
- ・相手を思いやる心や譲り合う心を育てます。
- ・達成感を味わわせ、前に進む気力を育てます。
- ・のびのびと遊びたくなる環境を整え、健全な身体の発育を促します。
- ・栽培活動をとおして食への感謝の気持ちを育てます。

■ ながみね乳児保育園

保育方針

- ・興味や探究心を大切にします
- ・相手を思いやる心や譲り合う心を育てます
- ・達成感を味わわせ、頑張る気持ちを育てます
- ・のびのびと遊びたくなる環境を整え、健全な身体の発育を促します
- ・いろいろな食材に親しみ、食べることの喜びを味わわせます